

平成29年度第1回光市教育振興基本計画策定懇話会 会議録

1 開催日時

平成29年7月14日（金）午前10時00分～午前11時50分

2 開催場所

光市教育委員会1階ホール

3 出席者

(1) 構成員

光市教育開発研究所	主任研究員	村上 博
室積小学校	校長	古谷 友伯
光井中学校	校長	吉本 そのみ
聖光幼稚園	園長	細田 直子
大和中学校学校運営協議会	会長	宮尾 智義
島田小学校学校運営協議会	会長	山本 俊男
光市小中学校PTA連合会	会長	岩崎 英二
光市文化協会	事務局長	川津 勝徳
光市スポーツ推進委員協議会	会長	林 徳人
光市食生活改善推進協議会	会長	天野 加代子
公募委員		福島 雅美子
公募委員		魚谷 美穂

(2) 事務局

能美教育長、蔵下教育部長、太田教育総務課長、影土井教育総務課経理係長、清水経理係員、櫻井経理係員

(3) 関係者

ア 教育委員会事務局

和田学校教育課長、奥屋学校教育課主幹、弘文化・社会教育課長兼人権教育課長、村崎体育課長、穂山図書館長、清水学校給食センター所長、永光教育企画担当（学校教育課）

イ 市民部

縄田地域づくり推進課長

ウ 福祉保健部

西村子ども家庭課長、柏木健康増進課長

4 次 第

開 会

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 会長及び副会長の選出
- (4) 議 題

ア 光市教育振興基本計画の策定について

イ 光市教育大綱について

ウ 光市教育振興基本計画（骨子）について

- (5) その他

閉 会

5 議事録（要旨）

開 会

- (1) 委嘱状の交付

教育長より各委員に委嘱状を交付。

- (2) 教育長あいさつ

懇話会の開催にあたり、まず、近年の教育行政について、少し触れさせていただきたい。我が国が目指す教育の基本及び振興を記した教育基本法については、昭和22年（1947年）の制定から約60年を経た平成18年（2006年）12月に全面改正され、新たな教育基本法では、一人一人の豊かな人生の実現や国際社会の平和と発展への貢献など、これまでの教育基本法の普遍の理念は継承しつつ、教育の目的や基本的な事項を定めるとともに、国及び地方公共団体の責務を明らかにすることなどが規定されたところである。

こうした近年の教育行政改革が進むなか、教育振興基本計画については、改正後の教育基本法において、国については、新たに計画の策定が義務化され、地方公共団体においては、国の計画を参酌しつつ、地域の実情に応じた基本的な計画の策定に努めるよう、いわゆる努力義務が課せられたところである。

本市では、これまで、光市総合計画の教育部門をもって教育振興基本計画に代えていたが、

市長と教育委員会で構成する「光市総合教育会議」において、平成29年3月に「光市教育大綱」が策定され、本市教育の中核を具体的かつ計画的に推進するための行動計画として、新たに「光市教育振興基本計画」の策定の必要性について、協議がなされたところである。

本日の会議では、そうした「光市教育振興基本計画」の策定に向け、具体的な施策や計画の骨子についてお示しし、幅広い視点からご意見、ご提言を頂くとともに、計画策定への積極的な関わりについて、よろしくお願ひしたい。

最後に、特に未来を託すことになる子ども達や市民の皆様にとって、本市教育に相応しい「光市教育振興基本計画」が策定されることを祈念し、開会のあいさつとさせて頂きたい。

(3) 会長及び副会長の選出

光市教育振興基本計画策定懇話会設置要綱第5条の規定に基づき、委員の互選により、会長に村上委員、副会長に天野委員が選出される。

(4) 議 題

ア 光市教育振興基本計画の策定について

(ア) 説 明

事務局より、資料に沿って説明。

(イ) 意見等

特段の意見等なし。

イ 光市教育大綱について

(ア) 説 明

事務局より、資料に沿って説明。

(イ) 意見等

特段の意見等なし。

ウ 光市教育振興基本計画（骨子）について

(ア) 説 明

事務局より、資料に沿って説明。

(イ) 意見等

【委 員】

内容について、わかりやすく記載してあると感じた。多くの取組みがあるなか、ひとつひとつの事業をしっかりとやっていかないといけないと思う。

【委員】

学校現場において、これからの子ども達に必要なだと思う力を育む内容がよくまとめられている。できるだけやさしい言葉で記載されると良いと思う。

【委員】

子育て支援施策として、さまざまな事業の記載があるが、こうした取組みにより、子ども達が健全に、より心豊かに育っていければ良いと思う。

【委員】

光市教育振興基本計画では、光市教育大綱で定めた本市教育の骨格を、具体的に肉付けしていくものと理解している。教育大綱では、教育を通じた人材育成として、「光っ子」の将来的な姿が示されており、地域の方々との繋がりの中で、子ども達が地域とともに成長していくための基礎が記載されていると感じた。現代社会においては、広い視点を持ち、更にはグローバルな視点に立って挑戦できる人を育てていくことも大切なねらいのひとつだと思う。こうした人材を育成していくため、只今説明頂いた具体的な施策や事業を推進していくことが必要であると感じた。

【委員】

小中一貫教育へのアプローチについて、島田中学校区は4つの小学校からなる校区なので、小学校と中学校との関わりが非常に重要である。コミュニティ・スクールの活動や授業内容についても、小中一貫教育に向けて、学校が共通の認識を持つことが必要である。

【委員】

PDCAサイクルに基づき計画を推進していくうえで、具体的な数値等で指標を定めるなど、進捗状況を分かりやすく示していくことが重要だと思う。

【委員】

もう少し柔らかい、分かりやすい言葉を使ってはどうかと感じた。「次世代型コミュニティ・スクール」の内容が気になったので、少し教えて頂きたい。

【事務局】

ここでいう“次世代型”の意味は、中学校区を一つのまとまりとして捉え、地域を中心にコミュニティ・スクールの推進していくことを“次世代型”としている。コミュニティ・スクール事業の導入当初は、一つの学校に一つの学校運営協議会が設置されていたが、現在は、中学校区を中心に、小中学校が一体となった活動を実施しており、これを更に進めて、中学校区に加えて地域、学校、保護者が一体となって進めていこうとするコミュニティ・スクールの進化を“次世代型”と捉えていただければと思う。

【委員】

最近は、生徒数が減少し、部活動の廃止や縮小といった話をよく耳にする。進学した中学校に入りたい部活動がなく、希望しない部活に入る生徒もいると聞いている。こうした生徒への適切な対応についても考えていく必要がある。少子化を理由にスポーツが制限されるのは、スポーツを広めようとする観点からどうかという思いがある。

【委員】

光市教育振興基本計画の計画期間は、平成33年度までとあるが、4年後には、この計画の内容が実際にどのように進んでいるのかなと感じた。4年後、ある程度の目標が実現できていれば素晴らしいと思う。

【委員】

計画の内容が幅広く、理解するにも時間がかかるものと感じた。光市はとても自然豊かで、子ども達もよく挨拶し、明るく、良い子が多いと感じている。豊かな自然の中で、優しく、たくましい子に育てくれるような計画ができれば良いと思う。

【会長】

委員の皆さんのお話を聞いて、計画の全体像や施策体系については、概ねご理解を頂けたものと思う。これから検討すべき事項として、教育に関する具体的な内容や改善策等についてご意見を頂き、現行の取組みをより一層充実したものにしていきたいと考えている。その辺りについて、ご意見をお願いしたい。

【委員】

小学校の施設面について、今、一番気になっているのが、児童と職員用のトイレ環境である。費用が伴うことは十分理解しているが、トイレ環境について、前向きに検討して頂きたい。

【委員】

次世代型のコミュニティ・スクールの推進が重要だと思う。コミュニティ・スクールで小中学校が地域と連携することで、子ども達は、これまで以上に、地域で活動できるようになっている。私たちができること、学校、家庭、地域でできることを話し合いながら、具体的に進められるといいなと思う。そうしたなかで、新たに出てきた課題について、まずは教育大綱が目指すところを理解しつつ、そうした内容を具体的に計画に記していければ良いと思う。

【委員】

もっとも気掛かりなのは少子化の問題である。光市全体の人口について、もっと考えていく必要がある。

また、他市等で策定されている計画等も参考にさせてもらえたら、イメージしやすいと思う。

【委員】

一昔前までは、子どもは学校の先生と保護者で育てていくといった印象が強かったが、今は、学校と地域が一体となって学校行事を行うなど、地域との関わりが非常に大きくなっていると思う。

事業の成果としては、地域貢献活動として、いろいろな公共施設に出向き清掃活動等を行っている。子ども達が一生懸命にゴミ出しをした後、コミュニティセンターの職員から褒めてもらえた一言が大変嬉しかったと作文を送ってくれた。小中学校で経験したことが、これからの人生で挑戦していくひとつの力になると思う。

もうひとつの課題は、先生方の多忙化である。先生が倒れてしまうとどうにもならないので、教職員の適正な管理が必要だと感じている。

【委員】

島田小学校区では、地区社会福祉協議会が児童をジュニア福祉員に任命するなど、福祉への取り組みを行っているが、島田中学校に進学すると4つの地区社協が関係するので、取り組みが非常に難しくなると感じている。学校と地域の連携をもっとスムーズにしていこう工夫が必要だと思う。

【委員】

三輪小学校について言えば、規模が小さいということもあるが、先生や地域との繋がりが強く、非常に良い環境だと感じている。ただ、現在の児童数に対して校舎やプール等の施設が大きいので、先生が時間外に一生懸命掃除等されていると聞いている。学校運営にもっと地域の協力が必要だと感じている。

【委員】

子ども達の日頃のあいさつは、非常に良くできていると思う。これは、とても大切なことで、特に上級生が率先して、こうした姿勢を見せているところが、下級生にとっても良いことだと感じている。

【委員】

塩田地域で言えば、小学生は30人くらいで、礼儀正しく協調性もあり、特に私たちの時代より、自分の思いをしっかりと表現できているなど感心している。これは先生方や地域の方々の協力があったことだと思う。最近、大和中学校との小中連携を一生懸命進めていきたいと思っている。

【委員】

私も少子化を特に心配している。子どもをあいぱーくのチャイベビステーションに連れて行った際に、お母さん達の間では、小学校施設の統合の話を耳にすることがある。

若いお母さん方からは、あいぱーくにチャイベビステーションがあってすごく良かった

たと聞いている。私も光市にこうした施設があつて本当に良かったと思う。

また、最近、夏季の気温が非常に高く、暑い日が続くので、熱中症の対策として、学校に空調設備を整備してもらえたら、学習の集中力も高まるのではと思う。

【委員】

子育て家庭として、いろいろな子育てサークルに参加して感じるのは、例えば、室積地域の東部憩いの家では、毎週木曜日にふれあいサークルがあり、高齢者との交流や季節の行事等がある。浅江地域にも小さい子ども達がたくさんいるので、子ども達がいろいろと遊べる場所がもっと充実していけばよいと思う。

また、例えば、サッカーをしている小学生は、よく下松方面まで行って活動していると聞く。中学校に進学した際、希望する部活がないなど、やりたいスポーツができないのは、子ども達にとって可哀想なことと思う。自分の子どもについても、将来、何のスポーツをさせようかとか、どこの小学校に入れようかとか、どこに住もうかなどと、いろいろと考えることがある。

【副会長】

今の子ども達は外で遊ぶことが少なく、家でゲームをしていることが多いと感じている。外で遊んで、怪我をしたり、時には友達と喧嘩をしたり、身をもって物事を覚える経験が少ない現状が、登校拒否や引きこもり等が増えている要因ではないかと思っている。いじめなどの問題もあるが、「生きる力」をもっと身につけてほしいと思うし、地域の方々との関わりや繋がりの中、光輝くたくましい子ども達が育ってほしいと願っている。

【事務局】

本日は長時間にわたり熱心なご協議をいただき、また、全ての委員さんから貴重なご意見やご提言を頂き、心より感謝を申し上げたい。今後の予定としては、本年度中にあと2回程度の開催を予定している。本日の会議を踏まえ、頂いたご意見等を参考に、次回の会議では改めて計画案をお示ししたいと考えている。

(5) その他

次回開催予定 平成29年9月22日(金) 午前10時～

午前11時50分終了